

平成 26 年度第二期第 5 回（一社）日本生物物理学会理事会議事録

日時：2015 年 2 月 28 日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 第 3 会議室

出席者：理事総数 17 名 出席理事 14 名（代表理事を含む。）

代表理事（会長）	七田 芳則	理事（副会長）	有坂 文雄
理事	石森 浩一郎	理事	伊東 大輔
理事	今元 泰	理事	金城 政孝
理事	佐甲 靖志	理事	須藤 雄気
理事	高橋 聡	理事	寺北 明久
理事	永井 健治	理事	根岸 瑠美
理事	林 久美子	理事	政池 知子

監事総数 2 名 出席監事 1 名

監事 難波 啓一

オブザーバー：

BIOPHYSICS 編集委員長 石渡 信一

ホームページ編集委員長 北尾 彰朗

平成 27・28 年度会長候補 中村 春木

平成 27 年度年会実行委員長 安藤 敏夫

平成 28 年度年会実行委員長 豊島 陽子

陪席者：

学会本部事務局 垣内 香里

神瀬 麻里子

議長：代表理事（会長） 七田 芳則

議事録作成者： 理事 伊東 大輔

報告および審議事項：

報告事項：

1. 平成 27 年度年会準備状況（安藤）：報 1
2. 平成 26 年度年会の収支報告訂正（七田）：報 2
3. 出版委員会報告（永井）：報 3
4. 男女共同参画・若手支援委員会報告（有坂）：報 4
5. 男女共同参画学協会連絡会報告（有坂）：報 5
6. IUPAB・ABA 関連報告（永井・金城）：報 6
7. 生物科学学会連合連絡会報告（有坂）：報 7
8. 賞・助成金推薦委員会報告（七田）：報 8
9. 年会不参加の非会員への年会予稿集の提供について（七田）：資料なし

10. 支部報告（会長・支部担当）：報 10

**審議事項：**

1. 平成 27 年度事業計画（案）（七田）：議 1
2. 平成 27 年度予算（案）（高橋・佐甲）：議 2
3. 細則変更について（七田）：議 3
4. 滞納 3 年以上の会員の除籍と会員数の推移について（須藤・今元）：議 4
5. 監事候補の選出について（七田）：資料なし
6. 理事の任期と年会準備との齟齬について（七田）：資料なし
7. 一家に 1 枚ポスターの英語版について（林）：議 7
8. 年会における国際交流促進について（林）：当日配布

**議事の経過の要領およびその結果：**

理事会の審議に先立ち、会長より、定足数を満たしており、定款第六章第三十二条の規定により理事会が成立していることが報告された。会長が議長に就き、開会を宣言し審議に入った。

**報告事項：**

1. 平成 27 年度年会準備状況（安藤）：報 1

安藤年会実行委員長より、平成 27 年度金沢年会の準備状況について報告があった。

- 1) 中西印刷との契約を完了した事が報告された。理事会で年会案内冊子等の送付について議論した結果、年会案内の冊子は郵送するが、年会参加費支払い用の郵便振替用紙は発送しない事を決定した。
- 2) スマートフォン・タブレット用アプリの導入について理事会で審議した結果、エー・イー企画のアプリを導入する事を決定した。
- 3) 公募シンポジウムについて報告があった。計 36 件の応募があり、年会実行委員会で 30 件を選定した。これらシンポジウムの開催について理事会で審議し、承認された。
- 4) 新学術/CREST 共催シンポジウムについて、計 9 件の応募があった事が報告された。
- 5) 全シンポジウム数 39 件、一般口頭発表 240 件として、会場スケジュールを作成したことが報告された。
- 6) 当初は分野別オーガナイズドセッションを企画する予定であったが、オーガナイザーの負担や時間が足りないことなどから、この案を取りやめることにした。
- 7) 予算案が提示された。中西印刷、エー・イー企画の見積もりなどを反映させ、現実的な金額となった（金沢年会収支+¥35,504、年会事業全体の収支-¥1,868,105）。
- 8) 市民講座について、年会前日（9 月 12 日）に金沢商工会議場にて、当初の計画通り大阪大学の永井教授にご講演いただく予定である事が報告された。
- 9) 新企画についての説明があった。求人・求職の手助けとして、企業と学生・ポスドクとの出会いの場、およびポスドクなどを求めている研究機関や研究室と学生・若手研究者との出会いの場を設ける事を企画しており、年会案内にこの企画を掲載予定である。
- 10) 年会案内の作成について説明があった。3 月末までに完了させ、4 月の理事会で承認し

た後に発送することとした。

11) 年会開催中のネットワーク環境について、国際無線 LAN ローミング基盤(eduroam)を使用予定である事が報告された。

12) ランチョン、展示、広告状況について報告があった。ランチョンは現時点で 7 件は見込める状況である。展示は 5 件確定し、広告は 11 件確定している。うちわ広告については 2 件確定しているが、4 件以上なければ中止となる。ホームページバナーは現在のところ 1 件のみ確定している。

## 2. 平成 26 年度年会の収支報告訂正 (七田) : 報 2

七田会長より札幌年会の収支報告書に一部誤りがあったことが報告された。結果として、札幌年会の収支は 140,718 円の黒字となった。年会事業全体としては 180 万円ほどの赤字である。

## 3. 出版委員会報告 (永井) : 報 3

船津出版委員長の代理で永井理事より出版委員会の報告があった。

まず石渡 BIOPHYSICS 編集委員長より、BIOPHYSICS 誌の現状について報告があった。2014 年には計 29 編の投稿があり、2015 年は現時点で 6 編の投稿があった。掲載数は 2015 年で 7 報となっている。次に、BIOPHYSICS 誌の今後について報告があった。現在 PMC (PubMed Central) の審査を受けており、並行して原稿の XML 化を進めている。また、誌名変更を J-STAGE に申請した。これに合わせて投稿規程の改定を行った (理事会メール審議済)。BIOPHYSICS 名称変更の経緯についても報告があり、新誌名を『Biophysics Reports』にすることを理事を対象としたメール審議により決定した。『Biophysics Reports』誌の投稿規程を定め、新誌名への変更、編集室の名称変更を行い、Page Charge の値上げを行ったことが報告された。誌名変更は 5 月 1 日に投稿された論文より適用する。

永井理事より科研費の執行状況について報告があった。現時点で 108 万円程度の残予算があるが、年度末までには消費する予定である。

原田会誌編集委員長の代理で永井理事より会誌編集委員会の報告があった。会誌編集委員会の構成員選考規程を変更し、副委員長の選出規程についての記載を追加した。これらは出版委員会です承済である。

永井理事より、年会の分野別専門委員会での出版倫理講演についての報告があった。金沢年会においてエルゼビア・ジャパンの高石氏に出版倫理について講演して頂くことを予定している。講演に関わる交通費、宿泊費、謝金等を経費として支出することの可否を出版委員会で審議し、承認されたことが報告された。この件については理事会においても承認された。

## 4. 男女共同参画・若手支援委員会報告 (有坂) : 報 4

有坂男女共同参画・若手支援委員長から午前中に開催された委員会の報告があった。まず、札幌年会で開催された男女共同参画若手支援シンポジウムのレポート邦文誌の談話室に投稿したことが報告された。第 2 号に掲載予定である。次に、若手奨励賞審査員の選考状況について報告があった。本年は、前回の若手奨励賞審査員を務められた方々に審査員候補を 3 名ずつ挙げていただいた。午前中の委員会にて 1 次審査員候補者を約 15 名選出し

た。若手奨励賞応募の分野について委員会にて議論した結果、応募・審査分野を改訂したほうが良いのではという意見が出た。この意見について理事会で問題提起し、今後検討していくこととなった。

#### 5. 男女共同参画学協会連絡会報告（有坂）：報 5

有坂男女共同参画若手支援委員長から、学協会連絡会の報告があった。

男女共同参画学協会は、11月より日本植物生理学会および日本植物学会が幹事学会となつて第13期をスタートした。

続いて大規模アンケート生データの取り扱いについての現状報告があった。今後データをさらに有効に利用できるようにするために、取扱規程の改正を行うことになった。改正に当たっては一時休止していた大規模フォローアップWGを再び立ち上げて検討を行い、新しい規約を作成し、学協会連絡会の承認を得た。WGの原田慶恵委員長の提案により、WGは今回の改定作業を終えて再び休眠状態となっている。委員会で議論し、現時点では現状を維持することになったことが報告された。

#### 6. IUPAB・ABA 関連報告（永井・金城）：報 6

永井国際担当理事からABA (9<sup>th</sup> ABA Symposium)およびIUPABについての報告があった。ABAの大方のシンポジストが決定された。アブストラクトの申し込みが3月15日までとなっており、生物物理学会から会員にメールで案内するとともに、積極的に参加するよう呼びかけて欲しいとアナウンスされた。続いてIUPAB関連に関して、IUPABタスクフォースの一環としてApplication of Biophysicsの現状について報告された。現在3編の記事が公表されている。今後も記事を増やしていける様呼びかけていく予定である。

#### 7. 生物科学学会連合連絡会報告（有坂）：報 7

有坂生科連担当理事より連絡会の報告があった。ポストドク問題検討委員会の小林委員長が「重要なお願い」最終版を発表された。中野明彦新委員長の下での第1回の連絡会が3月7日に開催される予定のため、理事にはこの「重要なお願い」最終版に一度目を通し、意見等あれば連絡会までに有坂理事まで連絡するようアナウンスされた。

#### 8. 賞・助成金推薦委員会報告（七田）：報 8

七田会長より賞・助成金推薦委員会の報告があった。第56回藤原賞、2015年度山田科学振興財団研究援助、第12回江崎玲於奈賞について、それぞれ候補者を推薦した。

#### 9. 年会不参加の非会員への年会予稿集の提供について（七田）：資料なし

七田会長より、年会不参加の非会員への年会予稿集の提供についての報告があった。毎年年会に参加している非会員から、札幌年会に参加できなかったが年会予稿集を入手できないかと問い合わせがあった。年会の非会員当日参加費相当分(12,000円)の入金により、年会講演予稿集(PDFデータ)を提供した。

#### 10. 支部報告（会長・支部担当）：報 10

関東支部長の代理で北尾氏から、関東支部の平成26年の活動報告があった。第3回日本

生物物理学会関東支部会を平成 26 年 3 月 6 日、7 日に開催した。また、あわせて会計報告がされた。続いて七田会長より活動支援金の交付についての報告があった。関東支部へ 1 月 5 日付、北海道支部へ 1 月 16 日付で 6 万円を交付したことが報告された。

#### **議題：**

##### **1. 平成 27 年度事業計画（案）（七田）：議 1**

七田会長より平成 27 年度事業計画案について説明があった。普及啓蒙活動の内容を修正し、修正された事業計画案について理事会で承認を得た。

##### **2. 平成 27 年度予算（案）（高橋・佐甲）：議 2**

高橋経理担当理事より平成 27 年度予算案の修正についての説明があった。前回予算案では 3,006,590 円の黒字予算であったが、修正の結果 1,369,245 円の黒字予算となる見込みである。収入については、金沢年会予算案の反映、掲載料（欧文誌掲載料）改訂により約 50 万円となった。支出については、金沢年会予算案を反映させ、欧文誌刊行等に係る費用、管理費・給料手当の変更により約 +120 万円となった。修正された予算案について理事会で承認を得た。

##### **3. 細則変更について（七田）：議 3**

七田会長より、細則の変更について説明があった。司法書士の指導のもと、細則の変更案を作成した。第十一条に理事候補の追加推薦に関する文言を追加した。変更案について理事会で審議し、承認された。

##### **4. 滞納 3 年以上の会員の除籍と会員数の推移について（須藤・今元）：議 4**

須藤庶務担当理事より、会費納入状況と会員数の推移の報告があった。2014 年度末時点で会費滞納満 3 年（請求額は 4 年分）となる会員は除籍候補者となる。理事会出席者で会費滞納者リストを確認し、須藤理事よりお知り合いの方へ会費納入を働きかけて欲しいとアナウンスされた。会員数は緩やかに減少傾向にある。

##### **5. 監事候補の選出について（七田）：資料なし**

七田会長より監事候補の選出について発議があった。平成 27・28 年度監事として平成 26 年度監事の片岡幹雄氏、平成 26 年度理事の有坂文雄氏が推薦され、理事会で承認された。

##### **6. 理事の任期と年会準備との齟齬について（七田）：資料なし**

七田会長より、理事の任期と年会準備との齟齬についての説明があった。一般社団法人への移行にあたり、役員任期が 6 月開始に変更になった。そのため、年会の計画・準備を行う理事と実際に年会を運営する理事が異なることになる。特に男女共同参画・若手支援委員会は計画・準備担当と運営担当が異なることによる影響が大きいため、当面は旧委員には年会中のシンポジウムまで実働メンバーとして参加することで対応することを理事会で決定した。今後の具体的な対策については今後も検討していくこととなった。

#### 7. 一家に1枚ポスターの英語版について (林) : 議7

林啓蒙担当理事より一家に1枚ポスターの英語版が完成したことが報告され、一度確認し、修正点等あれば1週間以内を目処に連絡いただきたいとの事であった。平成26年度の啓蒙事業費を使用しA2版を1000部印刷する予定。予算に余裕があればA1版も印刷したいとの事であった。ABAで配布して良いかを理事会で審議し、承認を得た。また、米国で開催される比較的大規模な国際会議 (Protein Society、Biophysical Society、Cell Biology等) で配布する事も検討する。

#### 8. 年会における国際交流促進について (林) : 当日配布

林理事より年会における国際交流促進についての提案があった。年会をより国際交流の場へと発展させていくべきという意見である。ターゲットをアジアとし、年会でアジアからの参加者に旅費援助するために、まずは民間団体が出している「国際交流助成」などに積極的に応募することが提案された。問題点としては、長年に渡って行うには安定した財源が必要なことであり、予算の中に年会に対しても国際交流費が必要ではないかという問題提起がされ、議論することとなった。年会の国際化という方向性は進めていくべきではあるが、その予算を支出できるかどうかについては慎重に検討する必要がある。もし実行に移す場合、担当理事を1名から2名選定し、実施方法を考えてもらうことからスタートすべきである。この議題については今後も引き続き検討を続けることを確認した。

#### 連絡事項 :

##### 1. 次回理事会日程について (七田)

- ・平成26年度第二期第6回理事会

2015年 4月11日 (土) 13時～ 場所: キャンパスプラザ京都

(11時より出版委員会、男女共同参画・若手支援委員会開催)

- ・平成27年度第1回理事会

2015年 6月27日 (土) 13時～ 場所: 未定

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は17:00に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成27年4月9日

一般社団法人 日本生物物理学会 平成26年度第二期第5回理事会

代表理事 七田 芳 則 (印)

監事 片岡 幹 雄 (印)

監事 難波 啓 一 (印)